



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/~kivosedai/kyouu/uzakku/index.htm>

み な づ き

ふ み づ き

水無月を頂き、文月(七月)を迎える

給食のデザートに、抹茶ケーキなどの和スイーツやお団子などは出ますが、本格的な和菓子は食べた記憶がありませんが、6/30(月)は「水無月」という和菓子が登場しました。栄養士さんも調理員さんも初めてのチャレンジで、試作品を一度作られて、本日に備えてくれたそうです。ありがとうございます。本校では全教職員で協力して、給食を食育の実践的な体験の場として取り組んでいます。

食育には、食事の喜びなどの食に向かう心の育成、食品ロス SDGs など食品選択能力や感謝の心、栄養バランスなどの心身の健康、地産地消による地域との繋がりなどの社会性というような幅広い6つの視点があります。今回は、季節行事の伝統料理などの食文化に関わる献立でした。そして半夏生の本日、7/1 も伝統料理のタコ飯が登場しました。



今回登場した「水無月」という和菓子は、栄養士さんが毎日書いている「給食コラム」で、生徒たちに紹介をしてくれましたが、室町時代の頃から京都などで食されている伝統菓子の一つです。

元日から1年の半分が終わる6月30日に、「夏越の払い(半年分のお祓い)」をした後に、暑気払いとして、氷に見立てたこの和菓子を頂くという風習のようです。6月には「水無月」という別称があり、「6月にいただく菓子」ということで、こう呼ばれるようになったのでは?とのこと。水無月の語源についても色々な説があり、国会図書館 HP によると、田植えの季節で「水の月」と呼ばれたことからというのが有力のようです。

そして、今日からは7月です。7月の別称に「文月(ふみづき)」があります。この語源も色々な説がありますが、稲穂が実る時期という「ほふみづき」からという説が有力のようです。他にも、七夕に詩歌を詠むという風習からきているのではなどもあるそうです。「和風月名」と呼ばれる各月の別称は、古来の風習や行事、四季の移り変わりから、名付けられた名称で、単にナンバーで呼ぶよりも、和の心が感じられて素敵ですね。

さて、1学期の期末考査も終わり、いよいよ1学期もあと3週間となりました。学期のまとめとともに、夏休みに向けての取組が始まります。

寺島茄子が育ってきました。 1年総合 江戸野菜を育てよう 6/30(月)

1年生の総合では、食育も兼ね、学校のひまわり農園で、江戸野菜の寺島茄子の栽培に取り組んでいます。梅雨がそろそろもう明けてしまいそうな本日、近隣農家の方に指導を頂きながら、支柱立てを行いました。

先週の中頃は、そろそろ周りの雑草抜きをしなければと思う程度でしたが、本日、農園を見て驚きました。雑草たちは元気に、伸びに伸びていました。植物の生長力、生命力はすごいものです。これでは土の栄養を取られてしまうので、まずは雑草抜き作業を全員で行ってから、支柱立ての方法を教わり、作業をしました。松村さんに「茄子に無駄花無し」と教わりましたが、茄子は花が咲くと、ほとんどに実が付くそうで、枝を支えてあげないと、重みで折れてしまうそうです。これから勢いがついて、ぐんぐん成長をしていくので、伸びた枝を紐でくくり、支えてあげる作業が必要になります。毎日畑に足運び、水やりと、周りの雑草取り、実のチェックで忙しくなりそうです。

夏休みの世話をしっかりしてあげると、秋にも実を沢山つけてくれますので、頑張りましょう。



■清瀬五中生の活躍のご紹介！

【テニス部】

第9ブロック東京都中学校総合体育大会予選大会
男子団体戦 第7位

【バドミントン部】

第5回東京都中学校第11ブロックバドミントン選手権大会
女子シングルス 第5位 3年生

清瀬市春季バドミントン大会

女子Bクラス ダブルス 第3位 2年生ペア

女子Bクラス ダブルス 第3位 2年生ペア

※家庭配布版では氏名をご紹介しています。



■期末考査の午後、教職員の研修を実施しました。 6/26(木)・27(金)

1学期期末考査の2日目と最終日の午後、教職員の研修会を実施しました。2日目の午後に実施したのは「mini 研修会」です。これは、主任教諭・主幹教諭の先生方が講師となり、テーマを分担して、若手の先生方を中心に、年間を通して開いている勉強会です。今回は、不登校対応巡回担当として、市内5校の中学校で指導をされている主任教諭が、資料などを使って都内公立学校における不登校生徒の現状や、市内各学校の取組の様子などについて講義をして下さいました。この様子は、時間の都合がなかなか合わないのですが、オンラインで十小の先生方にも視聴できるようにしています。



エピペン使用練習

期末最終日の午後は、生徒の部活再登校を15時以降にして、アレルギー対応と熱中症対応について、シミュレーション型の校内研修会を実施しました。



連絡に奔走

1つ目の課題、**アレルギー対応の研修**では、主幹養護教諭が講師となり、食物アレルギーが発生してしまったときの対応について学びました。対応手順や伝達・連絡・記録などの必要な役割分担や必要な機器、そしてエピペンの使用方法などについて確認をしたあと、3つのグループに分かれて、生徒、発見者、記録、補助、AED担当役などになり、実際に体育館や職員室まで、校舎内を移動走ってもらうなどのシミュレーション研修を行いました。

2つ目の課題、**熱中症対応の研修**では、市教委が実施した研修会に参加した教諭が講師となり、資料を使って、熱中症についての基本的知識や症状、判断基準、対応方法の確認などをした後、担架を使った人の運び方などの実技練習、そして、本年度学校で購入した簡易型の練習用 AED 教材を利用して、操作方法の手順や心臓マッサージの練習も行いました。先生方は、自分が受け持つ生徒をイメージして、真剣に研修に参加して下さいました。



担架での搬送練習

今回は、発生してしまった際の対応練習ですが、やはり基本は、起こらないようにするための日頃の防止対策が大切だということを教職員で確認しました。

人間は日頃やらないことは忘れてしまうので、1年に1回は、このような研修を行うことが、安心安全な学校作りには欠かせません。

本年度より、清瀬市教育委員会では、3年間をかけて、市内公立小中学校の全教員が普通救命講習を受ける取組を始めました。夏休みに本校教員も受講します。



AED・心臓マッサージ練習